

2010-11 年度

## RI テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」

### 地区テーマ「創立の原点に回帰しよう」

ガバナー・エレクト 井橋 吉一

2010-11 年度レイ・クリギンスミス RI 会長エレクトは、RI テーマを考えるにあたり、会員候補者やロータリーに関心を持っている人々から「ロータリーとは何か」、「ロータリー・クラブとは何をする団体なのか」といった質問を良く受けるが、簡潔でしかも効果的に答えるのは難しく、適切な言葉を探す上で、四大奉仕部門を再検討しました。クラブ奉仕と職業奉仕はどちらも人生を謳歌し、善き市民となるよう私たちを導いてくれるものであり、また社会奉仕と職業奉仕を合わせると地域社会をより住みやすく働きやすい地域にすることができるでしょう。一方国際奉仕は国や大陸を異にする海外のクラブと協力し世界理解、親善、平和を広め世界をより良くする機会を私たちにあたえます。そこでレイ・クリギンスミス RI 会長エレクトは「ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること」と「ロータリアンにロータリーの原則の重要性を再確認してもらうこと」、この 2 つの目標を満たす簡潔な RI テーマを「地域を育み、大陸をつなぐ **Building Communities Bridging Continents** 」としました。

さて上記に掲げました「創立の原点に回帰しよう」については 2010-11 年度の地区のテーマと考えました。1905 年青年弁護士ポール・ハリスがシカゴにロータリー・クラブを創立したときの 4 人の会員による志、趣旨や、各ロータリー・クラブを創立したときのチャーター・メンバーによる志、趣旨に回帰し、その努力と情熱について理解を深め私たちのロータリーに対する志気を高揚しましょう。

現在の第 2770 地区では多くの課題を抱えております。例えば、クラブの会員減少によって奉仕活動の継続、または新しい活動が難しくなっている。新会員の入会が少ない為に現会員の年齢が高齢化している。小規模クラブでは例会出席者が少なく例会の運営形態に支障が出ている、等。このような状況を打開するべく各クラブで課題解決に取り組んで居りますが、解決策もなく閉塞状況になっていることもあります。勿論課題によっては、意欲あるロータリアンの努力で解決している事例も多くあります。唯、解決しない課題も少なくありません。

この状態を打開するには第 2770 地区ロータリアンの総意によって少しでも解決の糸口が見つかればと思います。そして課題の取り組みに当たり、ロータリーの創立と地区内クラブの創立の原点に回帰して、当時の志、趣旨について理解を深め、私たちの志気を高揚して解決に少しでも近づきながら第 2770 地区並びに各ロータリー・クラブの継続的發展に繋がりたいと考えています。